

第4期滋賀県教育振興基本計画を推進するために

第Ⅲ期学ぶ力向上滋賀プランを策定し、
3つの視点の内容を焦点化して「学ぶ力」
向上の取組を進めます。

第Ⅲ期学ぶ力向上滋賀プラン (概要版)

本プランでは、子どもたち自身が主体的に活動に取り組む
ことを大切にしながら、「学ぶ力」を高め「夢と生きる力」
を育むことを目指します。

◆ 計画期間 令和6年度（2024年度）～ 令和10年度（2028年度）【5年間】

3つの視点 で進めます。

1 子どもたちが主体の 授業づくり
子ども一人ひとりの学力や学習の状況を把握し、主体的・対話的で深い学びを通して、子どもが学びを実感できる授業づくりを推進します。

2 学びを支え合う 集団づくり
子どもたちが「安全・安心」を実感し、互いを認め合える集団づくりを推進します。

3 協働して取り組む 学校づくり
全ての教職員が、各校における「学ぶ力」向上に向けた課題や具体的な取組を共有し、学校全体で組織的に実践する取組を推進します。



【第Ⅲ期学ぶ力向上滋賀プラン策定の趣旨】

本県の教育を取り巻く状況への対応や教育課題の解決に向けて「第Ⅲ期学ぶ力向上滋賀プラン」を策定することとしました。

「第Ⅲ期学ぶ力向上滋賀プラン」では、「夢と生きる力を育むために、子どもたちの主体的な活動を通して、学ぶ力を高める」ことを目標とし、「視点1 子どもたちが主体の授業づくり」「視点2 学びを支え合う集団づくり」「視点3 協働して取り組む学校づくり」の3つの視点の内容を焦点化した取組を進めます。取組の中には、「読み解く力」の育成とともに、ICT環境を効果的に活用した学習や学校図書館の活用の充実を図るなど、具体的な内容を示すことで、全校体制で「学ぶ力」向上に向けた課題や取組を共通理解・共通実践し、保護者、地域等と連携を深めながら推進していただきたいと考えています。

また、子どもたちの「学ぶ力」を高め、「夢と生きる力」を育むためには、幼保小接続や小中接続等の校種を越えた一貫した取組が重要です。幼稚園等や高等学校においては、小中学校等との連続性をふまえて本プランの内容を共有し、特別支援学校においては、小中学校等との学びの関連を意識して各校園の実情に応じた取組を進めていただきますようお願いいたします。

◆ プランを着実に推進するために(学校園の取組)

<小中学校および義務教育学校>

- ・ 学校の状況を踏まえ、「学ぶ力向上策」の具体的な実施計画を作成し取組を推進しましょう。
- ・ 実施計画を校内で共有し、PDCAサイクルにより組織的に取り組みましょう。
- ・ 全国学力・学習状況調査や学校評価等のアンケート調査の結果分析を学校の取組に生かすとともに、取組内容を、家庭・地域に積極的に発信しましょう。
- ・ 幼稚園等、小学校・中学校等の教員との合同研修会を実施し、幼保小接続・小中接続の取組を推進しましょう。
- ・ 子どもたちが基本的な生活習慣や主体的な生活態度、学習習慣を身に付けるため、家庭・地域と連携した取組を行いましょ。

<幼稚園・認定こども園・保育所>

- ・ 幼児期に育みたい資質・能力の具体的な姿としての「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を念頭に、幼児が主体的に環境と関わり、充実感や満足感を味わえるよう、環境構成や援助を行いましょ。
- ・ 園と小学校が協働で「架け橋期のカリキュラム」を作成することを通して、持続的・発展的な幼保小接続を推進しましょ。
- ・ 園内外で学び合い、0歳からのつながりを意識し、保育・教育の質を高めましょ。
- ・ 幼稚園等で取り組んでいる内容を積極的に発信することで、家庭・地域と共に子どもを育みましょ。
- ・ 「早寝、早起き、朝ごはん」などの基本的な生活習慣の確立や、読み聞かせや本に親しむような取組を、家庭・地域と連携して進めましょ。

「読み解く力」の視点を踏まえた授業づくりのポイント

自分なりに解決し、知識を再構築する【③再構築】

- ・学んだことを子どもが自分の言葉で自覚できるように、「まとめ」や「振り返り」の充実を図りましょう。（時間の確保、振り返る視点を明確にする、蓄積する、価値付ける等）

情報を比較し、関連付けて整理する【②分析・整理】

- ・目的に応じて、子ども自身が分析したり整理したりできるような学習展開を計画しましょう。
- ・子どもの学びの状況を捉えた上で、子どものどの考えを、どの順番で、どのように関連付けるとよいかを考えながら、授業をコーディネートすることにより、再構築につなげましょう。



必要な情報を確かに取り出す【①発見・蓄積】

- ・目的意識を大切に、目的に応じて必要な情報を取り出せるように発問や教材等を工夫しましょう。
- ・子ども一人ひとりの学びの状況を見取り、文章や図、グラフなどの読み取り方等を丁寧に指導しましょう。

【目的意識】

- ・再構築した子どもの姿を具体的に想定し、そこから単元の構想や授業の展開を組み立てましょう。
- ・学習のゴールを子どもと共有し、解決への見通しがもてるようにしましょう。

県教育委員会作成の参考となる手引き等

①「ICT活用ガイドブック～1人1台端末による学びの質の向上に向けて～」



②「家庭学習の手引き（自ら学びに向かう子どもの育成を目指して～学校と家庭を結ぶ学びの充実に向けて～）」



③「学びに向かう力推進事業・幼保小の架け橋プログラム事業」



④「幼保小架け橋ガイドブック」



⑤「学ぶ力」の向上につながる学校や市町の実践事例



⑥「習熟度別少人数指導の手引き」



⑦「道徳教育振興だより」



※ 「読み解く力」の視点を踏まえた授業づくりについては、「読み解く力」実践事例DVDを参照してください。

※ ①・②・⑤については、県総合教育センターのユーザー名とパスワードが必要です。

1 子どもたちが主体の 授業づくり

- ◆ 基礎的・基本的な知識や技能の定着を図る取組の充実
 - 一人ひとりの特性や学習進度等に応じた指導の充実
 - 言語環境の整備と、各教科等の特質に応じた言語活動の充実
- ◆ 「読み解く力」の視点を踏まえた、主体的・対話的で深い学びの実現
 - 「読み解く力」の視点を踏まえた授業づくりの充実
 - 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
 - 学校図書館等を効果的に活用することによる読書活動の充実と習慣化
 - I人I台端末等を効果的に用いた情報活用能力の育成



2 学びを支え合う 集団づくり

- ◆ 生徒指導の実践上の視点を意識した集団づくり
 - 共感的な人間関係の育成と安全・安心な風土の醸成
 - 自己存在感の感受の促進と自己決定の場の提供
 - 子どもたちが自主的、実践的に取り組む特別活動の充実
- ◆ 多様性を認め、思いやりの心を育む道徳教育の推進
 - 「考え、議論する道徳」に向けた授業の改善
- ◆ 地域に根ざした体験活動を通じた、豊かな人間性を育み人間関係を築く取組の充実
 - 滋賀の自然・歴史・文化に親しむ体験活動の充実
 - 将来の自己実現につながるキャリア教育の推進

3 協働して取り組む 学校づくり

- ◆ 「学ぶ力」向上の取組を共通理解・共通実践できる体制づくり
 - 管理職のリーダーシップによる組織マネジメントとアセスメントの充実
 - 地域社会の教育資源を生かしたカリキュラム・マネジメント
 - OJTによる効果的な校内研修体制の充実
- ◆ 中学校区を単位とした取組の推進
 - 園校種間連携・接続の推進
 - 基本的な生活習慣の定着に向けた取組の充実
 - 家庭等における子どもたちの主体的な学びにつながる取組の推進
- ◆ 多様な学びの場と学校との連携の充実
 - それぞれの児童生徒の状況に応じた学びの多様性について理解し、学びに向かう意欲に応える取組の充実

